

1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時③；重機5台が稼働し、施設も稼働

単位：デシベル(A)

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	8:10～8:20	69	67	65	×	60	60	(株)環境管理センター (2026. 4. 8)
	施設稼働時③	10:20～10:30	72	69	66	×			
B (北)	施設停止時	8:10～8:20	61	58	56	×			
	施設稼働時③	10:20～10:30	76	68	65	×			
C (西)	施設停止時	8:10～8:20	49	47	46	○			
	施設稼働時③	10:20～10:30	65	61	59	×			
D (南)	施設停止時	8:10～8:20	55	54	53	○			
	施設稼働時③	10:20～10:30	60	58	57	○			

- 注1) A地点では、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえており、稼働時の時間帯で重機音及び場内作業音が聞こえていた。
- 注2) B地点でもA地点と同様で、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえており、稼働時の時間帯で重機音及び場内作業音が聞こえていた。
- 注3) C地点では、稼働時に重機音及び場内作業音が聞こえていた。
- 注4) D地点では、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。

2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時③；重機5台が稼働し、施設も稼働

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	8:10～8:20	49	45	41	○	60	60	(株)環境管理センター (2026. 4. 8)
	施設稼働時③	10:20～10:30	53	49	47	○			
B (北)	施設停止時	8:10～8:20	45	40	37	○			
	施設稼働時③	10:20～10:30	51	48	46	○			
C (西)	施設停止時	8:10～8:20	42	39	36	○			
	施設稼働時③	10:20～10:30	47	44	42	○			
D (南)	施設停止時	8:10～8:20	45	42	39	○			
	施設稼働時③	10:20～10:30	49	47	45	○			

- 注1) 全ての地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値・市川市環境保全条例基準値以下であった。

3) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

3)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了年月日：(2026. 4. 14)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位
採取年月日	2026. 4. 08	2026. 4. 08	2026. 4. 08	2026. 4. 08		
採取時間	09:00~13:00	09:00~13:00	09:00~13:00	09:00~13:00		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	2. 80	3. 10	3. 50	3. 20	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4. 2版)(令和4 年 環境省水・大気環境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡によ る計数法	0. 056 本/L

3)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4. 2版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)  
JSM-6390LA(日本電子製)

観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間	2026. 4. 8 09:00~13:00	2026. 4. 8 09:00~13:00	2026. 4. 8 09:00~13:00	2026. 4. 8 09:00~13:00	
クリソタイル		<0. 11	<0. 11	<0. 11	0. 43	0. 11本/L
アモサイト		<0. 11	0. 32	<0. 11	<0. 11	0. 11本/L
クロシドライト		<0. 11	<0. 11	<0. 11	<0. 11	0. 11本/L
トレモライト /アクチノライト		<0. 11	<0. 11	<0. 11	<0. 11	0. 11本/L
アンソフィライト		<0. 11	<0. 11	<0. 11	<0. 11	0. 11本/L
アスベスト繊維濃度合計		0	0. 32	0	0. 43	—

※本調査では、全地点で総繊維数濃度が1.0本/ℓ以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。B地点(アモサイト0.32本/ℓ)、D地点(クリソタイル0.43本/ℓ)の2地点でアスベスト繊維が検出されました。

3)-3 石綿(アスベスト)含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター  2026. 4. 8 11: 25
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。  
注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。

1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼動時③；

単位：デシベル(A)

測定地点	稼動状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時								<b>火災により実施なし</b>
	施設稼動時③								
B (北)	施設停止時								
	施設稼動時③								
C (西)	施設停止時								
	施設稼動時③								
D (南)	施設停止時								
	施設稼動時③								

2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼動時③；

単位：デシベル

測定地点	稼動状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時								<b>火災により実施なし</b>
	施設稼動時③								
B (北)	施設停止時								
	施設稼動時③								
C (西)	施設停止時								
	施設稼動時③								
D (南)	施設停止時								
	施設稼動時③								

3) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

3)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了年月日：

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位	
採取年月日							
採取時間							
資料種別							
総繊維数濃度	<b>火災により実施なし</b>						

3)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.2版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置 (SEM-EDS)  
JSM-6390LA (日本電子製)

観察倍率：1000倍 (EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間					
クリソタイル						
アモサイト						
クロシドライト						
トレモライト /アクチノライト						
アンソフィライト						
アスベスト繊維濃度合計		—	—	—	—	—

3)-3 石綿（アスベスト）含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん	
試験項目 (単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	
		アモサイト	
		クロシドライト	
		トレモライト /アクチノライト	
		アンソフィライト	
	分散染色法	クリソタイル	
		アモサイト	
		クロシドライト	
		トレモライト /アクチノライト	
		アンソフィライト	
アスベスト検出の有無			

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。  
注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。

1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時③；重機5台が稼働し、施設も稼働  
単位：デシベル(A)

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	8:03～ 8:13	68	65	62	×	60	60	(株)環境管理センター (2025. 4.09)
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	75	69	66	×			
B (北)	施設停止時	8:03～ 8:13	60	58	56	○			
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	76	67	65	×			
C (西)	施設停止時	8:03～ 8:13	47	47	44	○			
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	62	55	58	×			
D (南)	施設停止時	8:03～ 8:13	53	57	48	○			
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	60	58	58	○			

- 注1) A地点では、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえており、稼働時の時間帯で重機音及び場内作業音が聞こえていた。
- 注2) B地点でもA地点と同様で、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。また、北東側隣接工場の作業音の影響を受けていた。
- 注3) C地点では、全ての測定条件で北東側隣接工場の作業音の影響を受けていた。また、稼働時は重機音及び場内作業音、ホッパーからの金属音が聞こえていた。
- 注4) D地点では、場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。

2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時③；重機5台が稼働し、施設も稼働  
単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	8:03～ 8:13	49	45	42	○	60	60	(株)環境管理センター (2025. 4.09)
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	53	50	47	○			
B (北)	施設停止時	8:03～ 8:13	42	39	37	○			
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	49	46	44	○			
C (西)	施設停止時	8:03～ 8:13	37	35	33	○			
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	46	44	42	○			
D (南)	施設停止時	8:03～ 8:13	45	41	38	○			
	施設稼働時③	9:15～ 9:25	50	47	45	○			

- 注1) 全4地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値・市川市環境保全条例基準値以下であった。

3) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

3)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了年月日：(2025. 4. 09)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位
採取年月日	2025. 4. 09	2025. 4. 09	2025. 4. 09	2025. 4. 09		
採取時間	09:00~13:00	09:00~13:00	09:00~13:00	09:00~13:00		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	7.70	4.70	1.00	6.20	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4.0版)(平 成22年 環境省水・大気環 境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡 による計数法	0.056 本/L

3)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)

JSM-6390LA(日本電子製)

観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間	2025. 4. 09 09:00~13:00	2025. 4. 09 09:00~13:00	2025. 4. 09 09:00~13:00	2025. 4. 09 09:00~13:00	
クリソタイル		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アモサイト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
クロシドライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
トレモライト /アクチノライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アンソフィライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計		0	0	0	0	—

※本調査では、全地点で総繊維数濃度が1.0本/L以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。同地点で石綿(アスベスト)の検出はなかった。

3)-3 石綿(アスベスト)含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター  2025. 4. 09
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。

注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。

## 1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲

単位：デシベル(A)

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	7:26～ 7:36	51	49	47	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	(株)環境管理センター (2025. 4. 08)
	施設稼働時	10:25～ 10:35	60	56	52	○			
B (北)	施設停止時	8:00～ 8:10	57	54	51	○			
	施設稼働時	10:32～ 10:42	62	57	54	×			
C (西)	施設停止時	7:02～ 7:12	58	55	53	○			
	施設稼働時	10:03～ 10:13	65	63	61	×			
D (南)	施設停止時	7:00～ 7:10	59	57	55	○			
	施設稼働時	10:05～ 10:15	63	59	57	×			

注1) B地点、C地点、D地点において、施設停止時に自主基準値以下であったが、施設稼働時に基準値を超過。施設稼働時には重機稼働音が聞こえていた。

## 2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	7:26～ 7:36	35	33	<30	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	(株)環境管理センター (2025. 4. 08)
	施設稼働時	10:25～ 10:35	37	35	34	○			
B (北)	施設停止時	8:00～ 8:10	33	31	<30	○			
	施設稼働時	10:32～ 10:42	44	42	40	○			
C (西)	施設停止時	7:02～ 7:12	33	30	<30	○			
	施設稼働時	10:03～ 10:13	42	40	39	○			
D (南)	施設停止時	7:00～ 7:10	31	<30	<30	○			
	施設稼働時	10:05～ 10:15	38	36	35	○			

注1) 全ての地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値以下であった。

3) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

3)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了報告日：(2025. 4. 08)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定 量 下限値 及び 単 位
採取年月日	2025. 4. 08	2025. 4. 08	2025. 4. 08	2025. 4. 08		
採取時間	09:20~13:08	09:15~13:15	09:08~13:08	09:03~13:03		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	0.22	0.68	1.90	0.06	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4.0版)(平 成22年 環境省水・大気環 境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡 による計数法	0.056 本/L

記) 調査の結果、敷地境界4地点のうち1地点では総繊維数濃度が1.0本/L以下であったことから、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行いませんでした。  
C地点(1.9本/L)では、総繊維数濃度が1.0本/Lを超えて検出されたため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行いました。

3)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。  
前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法  
分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)  
観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)  
加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検 出 下限値 及 び 単 位
	採取年月日 及び時間	2025. 4. 08 09:20~13:08				
クリソタイル		<0.11				0.11本/L
アモサイト		<0.11				0.11本/L
クロシドライト		<0.11				0.11本/L
トレモライト /アクチノライト		<0.11				0.11本/L
アンソフィライト		<0.11				0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計		0	-	-	-	-

※本調査では、A地点で総繊維数濃度が1.0本/L以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。石綿(アスベスト)繊維は検出されなかった。

3)-3 石綿(アスベスト)含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター  2025. 4. 08
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。  
注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。

市川エコ・プラントの「環境測定」結果報告

データ更新： 2024. 7. 15

1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時③；重機6台が稼働し、施設も稼働

単位：デシベル(A)

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	8:05～ 8:15	69	66	64	×	60	60	(株)環境管理センター (2024. 4. 10)
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	80	71	69	×			
B (北)	施設停止時	8:05～ 8:15	62	59	58	×			
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	79	72	68	×			
C (西)	施設停止時	8:05～ 8:15	48	47	46	○			
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	65	61	60	×			
D (南)	施設停止時	8:05～ 8:15	55	52	50	○			
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	60	58	58	○			

注1) A地点では、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえており、稼働時の時間帯で重機音及び場内作業音が聞こえていた。

注2) B地点でもA地点と同様で、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。

注3) C地点では、稼働時に重機音及び場内作業音、ホッパーからの金属音が聞こえていた。

注4) D地点では、場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。

2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時③；重機6台が稼働し、施設も稼働

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	8:05～ 8:15	49	45	41	○	60	60	(株)環境管理センター (2024. 4. 10)
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	54	50	48	○			
B (北)	施設停止時	8:05～ 8:15	43	39	35	○			
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	54	48	45	○			
C (西)	施設停止時	8:05～ 8:15	38	35	32	○			
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	47	44	41	○			
D (南)	施設停止時	8:05～ 8:15	46	42	38	○			
	施設稼働時③	9:30～ 9:40	53	49	46	○			

注1) 全ての地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値・市川市環境保全条例基準値以下であった。

3) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

3)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了年月日：(2024. 4. 18)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位
採取年月日	2025. 4. 09	2025. 4. 09	2025. 4. 09	2025. 4. 09		
採取時間	08:28~12:28	08:20~12:20	08:20~12:20	08:28~12:28		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	3.50	0.90	0.28	0.68	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4.2版)(令和4 年 環境省水・大気環境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡によ る計数法	0.056 本/L

3)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.2版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)

JSM-6390LA(日本電子製)

観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間	2024. 4. 10 08:28~12:28				
クリソタイル		<0.11				0.11本/L
アモサイト		<0.11				0.11本/L
クロシドライト		<0.11				0.11本/L
トレモライト /アクチノライト		<0.11				0.11本/L
アンソフィライト		<0.11				0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計		0	—	—	—	—

※本調査では、A地点の1地点において総繊維数濃度が1.0本/L以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。同地点で石綿（アスベスト）の検出はなかった。

3)-3 石綿（アスベスト）含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター  2024. 4. 10
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。  
注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。

## 1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲

単位：デシベル(A)

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	7:15～ 7:25	48	46	44	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	(株)環境管理センター (2024. 4. 03)
	施設稼働時	10:05～ 10:15	57	55	53	○			
B (北)	施設停止時	7:18～ 7:28	53	51	50	○			
	施設稼働時	10:05～ 10:15	59	56	55	○			
C (西)	施設停止時	7:45～ 7:55	56	55	54	○			
	施設稼働時	10:30～ 10:40	65	63	61	×			
D (南)	施設停止時	8:00～ 8:10	52	51	50	○			
	施設稼働時	10:33～ 10:43	61	60	59	×			

注1) C地点、D地点において、施設停止時に自主基準値以下であったが、施設稼働時に基準値を超過。施設稼働時には重機稼働音及び施設稼働音が聞こえていた。

## 2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (東)	施設停止時	7:15～ 7:25	32	30	<30	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	(株)環境管理センター (2024. 4. 03)
	施設稼働時	10:05～ 10:15	37	36	35	○			
B (北)	施設停止時	7:18～ 7:28	32	30	<30	○			
	施設稼働時	10:05～ 10:15	44	42	42	○			
C (西)	施設停止時	7:45～ 7:55	34	33	32	○			
	施設稼働時	10:30～ 10:40	43	42	40	○			
D (南)	施設停止時	8:00～ 8:10	<30	<30	<30	○			
	施設稼働時	10:33～ 10:43	42	41	39	○			

注1) 全ての地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値以下であった。

3) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

3)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了報告日：(2024. 4. 09)

試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位
採取年月日	2025. 4. 03	2025. 4. 03	2025. 4. 03	2025. 4. 03		
採取時間	05:50~12:50	08:30~12:30	08:35~12:35	08:45~12:45		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	0.45	0.56	0.79	0.22	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4.2版)(令和4 年 環境省水・大気環境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡によ る計数法	0.056 本/L

3)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)

観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	東側敷地境界 (A)	北側敷地境界 (B)	西側敷地境界 (C)	南側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間					
クリソタイル						0.11本/L
アモサイト						0.11本/L
クロシドライト						0.11本/L
トレモライト /アクチノライト						0.11本/L
アンソフィライト						0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計		—	—	—	—	—

※調査の結果、敷地境界4地点とも総繊維数濃度が1.0本/L以下であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行いませんでした。

3)-3 石綿（アスベスト）含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター  2024. 4. 03
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。

注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。